

大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン 科2年制		66	6	
文化教養専門課程	ビジュアルデザイン 科3年制		101	9	
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 1年制		36	3	
文化教養専門課程	ビジュアルアート科 2年制		74	6	
文化教養専門課程	プロジェクトデザイン 工科		68	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPトップ学校情報公開→授業科目等の概要 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPトップ学校情報公開→法人理事名簿 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E7%90%86%E4%BA%8B%E5%90%8D%E7%B0%BF2019%28HP%29.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E7%90%86%E4%BA%8B%E5%90%8D%E7%B0%BF2019%28HP%29.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	市議会議員	2019年4月1日～ 2023年3月31日	地域の要望・情勢の把握
非常勤	デザイン制作会社代表 取締役	2019年4月1日～ 2023年3月31日	業界の求めるスキル等の提言・助言
非常勤	映像系会社 代表	2019年4月1日～ 2023年3月31日	業界の求めるスキル等の提言・助言
非常勤	展覧会等イベント企画 運営 代表	2019年4月1日～ 2023年3月31日	業界の求めるスキル等の提言・助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

○シラバスの作成過程 (プロセス)

- ・教育課程編成委員会で、シラバスに記載すべく項目について検討。
- ・教育課程編成委員会（平成30年度事業報告書11頁の(6)基幹委員会運営 2)教育課程編成委員会報告)にて学校長を委員長とし、FD会議で「シラバス記載項目」を説明。
- ・教育課程編成委員会で、シラバス一式を確認。
- ・教育課程編成委員会での策定事項(授業科目の設置、授業方法の改善策)
- ・上記を経て、教育課程の編成に反映させ、教務方針に合わせて、年度のカリキュラム・シラバス作成に反映させる。
- ・教育課程編成委員会で、委員長がシラバス作成の作成依頼を委員会の合意を経て、教務長が全教員に、シラバス作成を依頼(長野美術専門学校 学校履修ガイド・シラバス)
- ・全教員が教務長にシラバスを提出
- ・教務内にてシラバスを点検し、教務長に報告。記載事項に不備のあるシラバスの再提出を教務長が各教員に依頼
- ・該当教員が教務長に、シラバスを再提出
- ・教育課程編成委員会がシラバスを再点検

○シラバス作成時期 1月15日から2月28日まで

○公表時期 4月1日

授業計画書の公表方法

HP トップ学校情報公開→授業科目等の概要

<http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf>

HP トップ学校情報公開→履修ガイド・シラバス

ビジュアルデザイン科 2年制

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD2\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD2_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

ビジュアルデザイン科 3年制

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD3\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD3_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

ビジュアルアート科 1年制

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA1\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA1_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

ビジュアルアート科 2年制

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA2\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA2_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

プロジェクトデザイン工科

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/PDE\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/PDE_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

・成績の評価及び履修認定に関する規程は次のとおり

長野美術専門学校学則第6章第20条 教育課程等について

学則第6章第21条 単位の計算方法について

学則第6章第22条 単位の認定及び成績の評価について

学則第6章第23条 履修終了の認定について

学則第6章第24条 卒業証書ならびに称号の授与について

長野美術専門学校履修規程

第9条 単位認定 各授業科目の学業成績評価により行われている

第10条 学業成績の評価 観点別評価を採用し、評価の観点として四項目を設定し、試験・出欠状況・修学状況により、四段階の評価をしている。シラバスに評価基準・評価方法を明示している。

「2019年度履修ガイド・シラバス」記載内容

○授業科目履修について

①授業科目の履修登録のきまりに、課程修了に必要な単位数・時間数が、各科ごとに決められている。

②「授業科目等の概要 2019年度」の見方

○「美専シラバス 2019」の利用について

①授業科目（シラバス）の見方

ここでは、履修認定に関わることとして、授業科目ごとに作成された表の見方について説明されている。

○履修登録方法について

①履修登録上の一般的注意事項

ここでは、履修認定に係ることとして「履修登録した科目以外は履修できない」等一般的な注意事項が記載されている。

②履修登録票の記入方法

履修登録する際の登録票への記入方法が記載されている。

○授業科目等の概要

①卒業要件及び履修方法について記載されている

以上のように、それぞれの規定等に記載されており、各学年の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与及び履修認定を実施している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・ GPA等の客観的な指標の設定
- ・ GPA等の客観的な指標の公表
- ・ 上記等により、成績の分布状況の適切な把握の実施

○成績評価の適切な実施に係る取組の概要

①本校の成績評価に関しては、絶対評価を採用しているが、担当教員（評価者）は授業ごとにシラバスにて評価基準をあらかじめ明示し、客観的な成績評価に努めている。学生には、履修登録前の履修登録プログラムにてこれを周知しHP上でも公開する。

シラバス掲載観点別評価表（成績別評価基準）

観点別評価	評価の観点	思考 判断 表現	技能	関心 意欲 態度	知識・ 理解	合計 (点)
	評価方法（例）					
	制作物					
	受講態度（出席等を含む）					
	合計（点）					

②本校の成績の評価基準については、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として、「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、さらに「評価方法」として、授業内における制作や提出物、受講態度や出席状況などから、合計100点満点から減点方式で算出する。さらに、成績通知書・学業成績証明書における四段階評価は、100～80点を「優」、79～70点を「良」、69～60点を「可」、59～「不可」と定めており、これに則り各学生へ通知する。

四段階評価

評価	評価点	G P	合否
優	80点以上100点	4点	合格
良	70点以上80点未満	3点	合格
可	60点以上70点未満	2点	合格
不可	0点以上60点未満	0点	不合格

③本校の成績の分布については、学科・年次ごと四段階評価におけるGPから次の算式で判定し、それぞれの適切な成績評価を実施し、学生には、指導の指針としHP上においても公開する。

算出式

$$GPA = \frac{(A \text{ 科目成績} \times \text{単位数}) + (B \text{ 科目成績} \times \text{単位数}) + (C \text{ 科目} \dots) + \dots}{\text{総単位数 (全科目の単位の合計)}}$$

総単位数（全科目の単位の合計）

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

HP トップ学校情報公開→履修規程

<http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B1%A5%E4%BFAE%E8%A6%8F%E7%A8%8B2019.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校では以下のような能力を身につけ、かつ、所定の単位数を修得した学生は卒業が認定されます。

[身につける能力]

- ・各分野において業務遂行に必要とされる実務能力
- ・社会人としての基本的能力（ビジネスマナー、コミュニケーション力、協調性等）
- ・身につけた能力を具体的に証明する資格・検定

[教育目的]

創造性の育み

本校の扱う専門教育の根本、創造性の育みを教育目的とする。

[教育方針]

- ・主体性の涵養

創造性の育みの教育目的から、学習課題などその活動目的に対しての行動は、個人の自由を重んじ主体性を涵養する。

- ・キャリア形成段階を意識した学習

本校の教育課程における専門性の学びには、同時にキャリア形成の働きを求め、基礎を習う段階（ベーシックステージ）、自己の可能性を探る段階（パーソナルステージ）、専門性を社会に向けて発動する段階（プロフェッショナルステージ）の3段階を意識してキャリアを積んで行けるよう学習を行います。

各学科の修業年限、卒業に必要な単位数及び時間数は下表のとおりです。

課 程	学 科 (単位制)	修業 年限	卒業に必要な単 位数及び時間数		称号
文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	2年	6 2	1700	専門士
文化教養専門課程	ビジュアルデザイン科3年制	3年	9 3	2550	専門士
	ビジュアルアート科1年制	1年	3 1	850	
	ビジュアルアート科2年制	2年	6 2	1700	専門士
	研究科 (プロジェクトデザイン工科)	2年	6 2	1700	専門士

卒業の認定に関する方針や学生の修得単位数を踏まえ、卒業を認定している。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

HP トップ学校情報公開→卒業の認定に関する方針

<http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%8D%92%E6%A5%AD%E3%81%AE%E8%AA%8D%E5%AE%9A%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E9%87%9D.pdf>



様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長野美術専門学校
設置者名	学校法人クリエイティブA

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP トップ学校情報公開→財務状況 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	HP トップ学校情報公開→財務状況 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf</a>
財産目録	HP トップ学校情報公開→財務状況 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf</a>
事業報告書	HP トップ学校情報公開→事業報告書 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf</a>
監事による監査報告（書）	HP トップ学校情報公開→財務状況 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%B1%BA%E7%AE%97%E6%9B%B8%E6%8A%9C%E7%B2%8B20190614.pdf</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程 (職業実践専門課程)	ビジュアルデザイン科2年制	○			
修業 年限	昼	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間/単位 1700/62	352 単位時間 /22 単位	160 単位時間 /10 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1890 単位時間 /63 単位
			2402 単位時間/95 単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		53人	0人	8人	20人	28人	

### カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

#### (概要)

HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照

<http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf>

HP トップ情報公開→履修ガイド・シラバス 参照

[http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD2\\_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf](http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD2_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf)

### 成績評価の基準・方法

#### (概要)

成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、試験、制作課題に対する制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。

評価	評価点	G P	合否
優	80点以上100点	4点	合格
良	70点以上80点未満	3点	合格
可	60点以上70点未満	2点	合格
不可	0点以上60点未満	0点	不合格

成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業・修了の要件を満たすためには、修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	修得単位時間
ビジュアルデザイン科 2年制	2年	62	1700
学修支援等			
(概要)			
学生の学修上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をすすめる。</li> </ul>			
HP トップ→美専の理由→就学情報			
<a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	1人 ( 2.8%)	26人 ( 72.2%)	9人 ( 25.0%)
(主な就職、業界等)			
グラフィックデザイン、広告制作、写真制作、雑貨・土産商品企画、映像・CM制作、WEB制作、印刷・製版 等業界への就職が主であるが、広告代理店の営業や制作会社の事務など、制作に限らない職種に就く学生が若干増してきた。また、製造、塗装等多種に渡っての一般分野への就職も増えている。			
(就職指導内容)			
教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア指導を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。			
「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。			
又、分野ごとに企業を選定し、希望学生が企業訪問し、現場担当者から説明を受けることができる「クリエイターインタビュー」等、実際の現場を体験できる機会を設けている。			
授業としてインターンシップを取り入れて、県内企業の協力を得て、就業意識を高めている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 合格率			
色彩士検定3級 58.6%			

日本語検定3級 74.1%
レタリング技能検定3級 23.3%
ビジネス能力検定ジョブパス3級 97.3%
Illustratorクリエイター能力認定試験 66.7%
Photoshopクリエイター能力認定試験 40.0%
フォトマスター検定 58.8%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	1人	1.5%
(中途退学の主な理由)		
・学業不振・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul> <p>HPトップ→美専の理由→就学情報  <a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a></p>		

分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	文化教養専門課程		ビジュアルデザイン科3年制		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	単位時間／単位 2550／93	560 単位時間 ／35 単位	192 単位時間 ／12 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	3240 単位時間 ／108 単位
			3992 単位時間／155 単位				
生徒総定員 数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45人	4人	0人	8人	20人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
<p>（概要）</p> <p>HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf</a></p> <p>HP トップ情報公開→履修ガイド・シラバス 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD3_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VD3_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf</a></p>																				
成績評価の基準・方法																				
<p>（概要）</p> <p>成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、試験、制作課題に対する制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80点以上100点</td> <td>4点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70点以上80点未満</td> <td>3点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60点以上70点未満</td> <td>2点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0点以上60点未満</td> <td>0点</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。</p>	評価	評価点	G P	合否	優	80点以上100点	4点	合格	良	70点以上80点未満	3点	合格	可	60点以上70点未満	2点	合格	不可	0点以上60点未満	0点	不合格
評価	評価点	G P	合否																	
優	80点以上100点	4点	合格																	
良	70点以上80点未満	3点	合格																	
可	60点以上70点未満	2点	合格																	
不可	0点以上60点未満	0点	不合格																	

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業・修了の要件を満たすためには、各科修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	修得単位時間
ビジュアルデザイン科 3年制	3年	93	2550
学修支援等			
(概要)			
学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul>			
HP トップ→美専の理由→就学情報			
<a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	人 (%)	1人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
フラワーショップ 企画・販売			
(就職指導内容)			
教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア指導を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。			
「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。			
又、分野ごとに企業を選定し、希望学生が企業訪問し、現場担当者から説明を受けることができる「クリエイターインタビュー」等、実際の現場を体験できる機会を設けている。			
授業としてインターンシップを取り入れて、県内企業の協力を得て、就業意識を高めている。			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) 合格率 ビジネス能力検定ジョブパス 2 級 100% Photoshop クリエイター能力認定試験 0.0%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul> HP トップ→美専の理由→就学情報 <a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>		

分野		課程名	学科名			専門士	高度専門士
文化・教養		文化教養専門課程	ビジュアルアート科 1年制				
修業 年限	昼	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	単位時間／単位 850／31	112 単位時間 ／7 単位	48 単位時間 ／3 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1050 単位時間／ 35 単位
			1210 単位時間／45 単位				
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		0人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																					
<p>(概要)</p> <p>HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf</a></p> <p>HP トップ情報公開→履修ガイド・シラバス 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA1_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA1_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf</a></p>																					
成績評価の基準・方法																					
<p>(概要)</p> <p>成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、試験、制作課題に対する制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。</p> <table border="1" data-bbox="284 1547 1409 1796"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> <th>可否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80点以上100点</td> <td>4点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70点以上80点未満</td> <td>3点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60点以上70点未満</td> <td>2点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0点以上60点未満</td> <td>0点</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。</p>		評価	評価点	G P	可否	優	80点以上100点	4点	合格	良	70点以上80点未満	3点	合格	可	60点以上70点未満	2点	合格	不可	0点以上60点未満	0点	不合格
評価	評価点	G P	可否																		
優	80点以上100点	4点	合格																		
良	70点以上80点未満	3点	合格																		
可	60点以上70点未満	2点	合格																		
不可	0点以上60点未満	0点	不合格																		



卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業・修了の要件を満たすためには、各科修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	修得単位時間
ビジュアルアート科 1年制	1年	31	850
学修支援等			
(概要)			
学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul>			
HP トップ→美専の理由→就学情報			
<a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア指導を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。			
「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。			
又、分野ごとに企業を選定し、希望学生が企業訪問し、現場担当者から説明を受けることができる「クリエイターインタビュー」等、実際の現場を体験できる機会を設けている。			
授業としてインターンシップを取り入れて、県内企業の協力を得て、就業意識を高めている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 合格率 色彩士検定3級 0.0% 日本語検定3級 100.0% レタリング技能検定3級 0.0%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人※年度中に転学科 (-1出=0)	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul> HP トップ→美専の理由→就学情報 <a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化教養専門課程	ビジュアルアート科2年制	○				
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間／単位 1700／62	272 単位時間 ／17 単位	144 単位時間 ／9 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1980 単位時間 ／67 単位
			2396 単位時間／93 単位				
生徒総定員 数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	0人	8人	15人	23人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
<p>（概要）</p> <p>HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf</a></p> <p>HP トップ情報公開→履修ガイド・シラバス 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA2_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/VA2_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf</a></p>																				
成績評価の基準・方法																				
<p>（概要）</p> <p>成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、試験、制作課題に対する制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> <th>可否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80点以上100点</td> <td>4点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70点以上80点未満</td> <td>3点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60点以上70点未満</td> <td>2点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0点以上60点未満</td> <td>0点</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。</p>	評価	評価点	G P	可否	優	80点以上100点	4点	合格	良	70点以上80点未満	3点	合格	可	60点以上70点未満	2点	合格	不可	0点以上60点未満	0点	不合格
評価	評価点	G P	可否																	
優	80点以上100点	4点	合格																	
良	70点以上80点未満	3点	合格																	
可	60点以上70点未満	2点	合格																	
不可	0点以上60点未満	0点	不合格																	

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業・修了の要件を満たすためには、各科修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	修得単位時間
ビジュアルアート科 2年制	2年	62	1700
学修支援等			
(概要)			
学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul>			
HP トップ→美専の理由→就学情報			
<a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	人 (%)	3人 (37.5%)	5人 (62.5%)
(主な就職、業界等)			
一般製造、技術職、雑貨販売 造形とつながる「ものづくり」や自身の関心事に近い分野での就職をしている。			
(就職指導内容)			
教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア指導を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。			
「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。			
又、分野ごとに企業を選定し、希望学生が企業訪問し、現場担当者から説明を受けることができる「クリエイターインタビュー」等、実際の現場を体験できる機会を設けている。			
授業としてインターンシップを取り入れて、県内企業の協力を得て、就業意識を高めている。			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 合格率</p> <p>色彩士検定3級 42.9%</p> <p>日本語検定3級 60.0%</p> <p>レタリング技能検定3級 12.5%</p> <p>ビジネス能力検定ジョブパス3級 87.5%</p> <p>Illustrator クリエイター能力認定試験 25.0%</p> <p>Photoshop クリエイター能力認定試験 0.0%</p> <p>フォトマスター検定 100.0%</p>
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人※年度中に転学科 (+1入=24)	4人	16.7%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学業不振</li> <li>・進路変更</li> </ul>		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をすすめる。</li> </ul> <p>HP トップ→美専の理由→就学情報  <a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a></p>		

分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	文化教養専門課程		プロジェクトデザイン工科		○		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間／単位 1700／62	272 単位時間 ／17 単位	176 単位時間 ／11 単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2370 単位時間 ／79 単位
			2818 単位時間／107 単位				
生徒総定員 数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	0人	0人	7人	12人	19人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																				
<p>(概要)</p> <p>HP トップ情報公開→授業科目等の概要 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/2019%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%88%E6%A5%AD%E7%A7%91%E7%9B%AE%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81.pdf</a></p> <p>HP トップ情報公開→履修ガイド・シラバス 参照  <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/PDE_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/PDE_%E5%B1%A5%E4%BF%AE%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%BB%E3%82%B7%E3%83%A9%E3%83%90%E3%82%B92019.pdf</a></p>																				
成績評価の基準・方法																				
<p>(概要)</p> <p>成績の評価は、「観点別評価」を採用し、「評価の観点」として「思考・判断・表現」「技能」「関心・意欲・態度」「知識・理解」の四項目を設定し、試験、制作課題に対する制作物、レポート等の成績、出欠状況、平素の修学状況等により、「優」「良」「可」を合格、「不可」を不合格とし、原則として以下の基準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価点</th> <th>G P</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td> <td>80点以上100点</td> <td>4点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>良</td> <td>70点以上80点未満</td> <td>3点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>60点以上70点未満</td> <td>2点</td> <td>合格</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>0点以上60点未満</td> <td>0点</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>成績の評価については、教科ごとの観点別評価を設定し、予めシラバスに評価基準と評価方法を明示するものとする。</p>	評価	評価点	G P	合否	優	80点以上100点	4点	合格	良	70点以上80点未満	3点	合格	可	60点以上70点未満	2点	合格	不可	0点以上60点未満	0点	不合格
評価	評価点	G P	合否																	
優	80点以上100点	4点	合格																	
良	70点以上80点未満	3点	合格																	
可	60点以上70点未満	2点	合格																	
不可	0点以上60点未満	0点	不合格																	

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
卒業・修了の要件を満たすためには、各科修業年限以上在籍し、次の表に掲げる単位数を修得しなければならない。			
学科	修業年限	修得単位	修得単位時間
プロジェクトデザイン工科	2年	62	1700
学修支援等			
(概要)			
学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をすすめる。</li> </ul>			
HP トップ→美専の理由→就学情報			
<a href="http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/">http://info.n-bisen.ac.jp/%e5%b0%b1%e5%ad%a6%e6%83%85%e5%a0%b1/</a>			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	人 (%)	1人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
印刷会社企画・デザイン制作部門			
(就職指導内容)			
教科科目による全学生への指導の充実に加え、教務にキャリア指導を主に担当する教員を配置して、個別対応を可能としている。			
「美専進路説明会」を年度内4回以上設け、地域ハローワーク担当者による面接指導や、履歴書添削及び企業から人事担当者を招き、職種や職務内容、必要とされるスキル等を説明していただく機会としている。			
又、分野ごとに企業を選定し、希望学生が企業訪問し、現場担当者から説明を受けることができる「クリエイターインタビュー」等、実際の現場を体験できる機会を設けている。			
授業としてインターンシップを取り入れて、県内企業の協力を得て、就業意識を高めている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 合格率
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>学生の修学上の問題解決に役立てるため、以下の方策をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学コーディネーターを専任し、修学相談、保護者相談に応じる。</li> <li>・ 校内にサポートカウンターを設置し、授業等に関する質問、各種相談の窓口とする。</li> <li>・ 教職員に修学支援主事を設け、常に学生の状況を把握し、修学コーディネーターとの情報共有をする。</li> </ul>		



②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ビジュアルデザイン科2年制	230,000円	716,000円	240,000円	施設設備費含む
ビジュアルデザイン科3年制	230,000円	716,000円	240,000円	施設設備費含む
ビジュアルアート科1年制	210,000円	716,000円	240,000円	施設設備費含む
ビジュアルアート科2年制	230,000円	716,000円	240,000円	施設設備費含む
プロジェクトデザイン工科	150,000円	520,000円	170,000円	施設設備費含む
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  HP トップ学校情報公開→学校自己点検・評価報告書 <a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%87%AA%E5%B7%B1%E7%82%B9%E6%A4%9C%E3%83%BB%E8%A9%95%E4%BE%A1%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E8%87%AA%E5%B7%B1%E7%82%B9%E6%A4%9C%E3%83%BB%E8%A9%95%E4%BE%A1%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)  ・基本方針 本校と連携授業等で関係している企業や学識経験者、本校学生保護者、卒業生から選ばれた委員による学校関係者評価委員会を設置し、本校の自己点検・評価の結果が適切かどうか、またその結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか等の評価を行い、今後の学校運営改善ための参考とする。  ・学校関係者評価委委員の構成 一 若年者の就職動向やキャリア教育に関する知識を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の関係者 二 地域産業における動向等の知識及び本校教育内容に関する知識、技術、技能について知見を有する専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等の関係者 三 地域住民 四 本校出身学生の保護者 五 本校の卒業生 六 その他学校長が必要と認めた者  ※前項の一、二、三の内からは2名以上選任するものとする。 ※委員の人数は原則として4名から10名までとする。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目</li> <li>(1)教育理念・目標</li> <li>(2)学校運営</li> <li>(3)教育活動</li> <li>(4)学修成果</li> <li>(5)学生支援</li> <li>(6)教育環境</li> <li>(7)学生の受け入れ募集</li> <li>(8)財務</li> <li>(9)法令等の遵守</li> <li>(10)社会貢献・地域貢献</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価結果の活用状況</li> </ul> <p>評価結果は「学校関係者評価報告書」としてまとめ、その内容について広く公表周知していくとともに、以後、学校運営のために計画的に活用している。</p>
---

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
キャリアに関するプログラム開発・調査研究機関	2019年4月1日～ 2020年3月31日	調査研究機関の関係者
印刷会社	2019年4月1日～ 2020年3月31日	関係団体等の関係者
ネットワーク構築コンサルティング及び情報機器取扱い企業	2019年4月1日～ 2020年3月31日	専攻分野に関する企業の関係者
在校生保護者	2019年4月1日～ 2020年3月31日	本校出身学生の保護者
本校卒業生	2019年4月1日～ 2020年3月31日	本校の卒業生

<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>HP トップ学校情報公開→学校関係者評価報告書</p> <p><a href="http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E9%95%B7%E9%87%8E%E7%BE%8E%E8%A1%93%E5%B0%82%E9%96%80%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E9%96%A2%E4%BF%82%E8%80%85%E8%A9%95%E4%BE%A1%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf">http://www.n-bisen.ac.jp/disclosure/upload/docs/%E5%B9%B3%E6%88%9030%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E9%95%B7%E9%87%8E%E7%BE%8E%E8%A1%93%E5%B0%82%E9%96%80%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E9%96%A2%E4%BF%82%E8%80%85%E8%A9%95%E4%BE%A1%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf</a></p>
--

<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>
----------------------------

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.n-bisen.ac.jp/>